

平成 28 年度事業報告

(平成 28 年 4 月 1 日－平成 29 年 3 月 31 日)

I. 会員数 (平成 29 年 3 月 31 日)

(1) 名誉会員

平成 28 年 3 月 31 日会員数	3 名	
名誉会員現在数	6 名	(3 名増)

(2) 正会員

平成 28 年 3 月 31 日会員数	1,117 名	
平成 28 年度新入会員数	68 名	
平成 28 年度退会者数	112 名	
内訳	希望退会者	109 名
	物故者	3 名
正会員現在数	1,073 名	(44 名減)

(3) 維持会員

平成 28 年 3 月 31 日維持会員数	87 社	
平成 28 年度入会社数	4 社	
平成 28 年度退会社数	2 社	
維持会員現在数	89 社	(2 社増)

II. 機関誌送本および販売数

(1) 送本数	会員区分	送本数
国内	名誉会員	4 冊
	正会員	1,692 冊
	維持会員	895 冊
国外	正会員	8 冊
国外	維持会員	3 冊
	小計	2,602 冊
(2) 販売数		111 冊
(3) 贈呈数	箇所数	送本数
国内	10	40 冊
国外	5	20 冊
	小計	60 冊
合計機関誌送本数		2,773 冊 (135 冊増)

(4) その他

機関誌を広告代理店に提供、バックナンバーとして販売。残部は在庫。

III. 第 63 回通常総会

開催年月日： 平成 28 年 5 月 19 日

開催場所： ミューザ川崎シンフォニーホール

IV. 理事会、評議員会

(1) 理事会 4 回開催

① 第 1 回 開催年月日： 平成 28 年 4 月 25 日

開催場所： 東京大学農学部フードサイエンス棟

② 第 2 回 開催年月日： 平成 28 年 5 月 19 日

開催場所： ミューザ川崎シンフォニーホール

③ 第 3 回 開催年月日： 平成 28 年 11 月 25 日

開催場所： 中央大学駿河台記念館

④ 第 4 回 開催年月日： 平成 29 年 3 月 15 日

開催場所： 東京大学農学部 3 号館

(2) 理事・評議員懇談会 1 回開催

開催年月日： 平成 28 年 5 月 17 日

開催場所： ミューザ川崎シンフォニーホール

V. 定期学術集会の開催

第 63 回日本実験動物学会総会を下記のとおり開催した。

会期： 平成 28 年 5 月 18 日（水）～20 日（金）

会場： ミューザ川崎シンフォニーホール

会長： 伊藤 守（公益財団法人実験動物中央研究所）

参加者： 1,300 名

VI. 定期刊行物の発行

「Experimental Animals」および「実験動物ニュース」を下記のとおり発行し、会員に希望配布した。

発行年月日	巻	号	備考
平成 28 年 4 月 1 日	65	2	
平成 28 年 5 月 1 日	65	サプリメント号（電子配信）	
平成 28 年 7 月 1 日	65	3	
平成 28 年 10 月 1 日	65	4	
平成 29 年 1 月 1 日	66	1	

VII. 研究の奨励、業績の表彰

(1) 名誉会員記を授与した。

名誉会員 (3名、五十音順)

高垣 善男 (元中外製薬)

降 矢 強 (元国立医薬品食品衛生研究所)

前島 一淑 (慶應義塾大学名誉教授)

(2) 日本実験動物学会特別表彰を行った。

李 栄 純 (ソウル国立大学名誉教授、元韓国実験動物学会理事長)

(3) 平成 28 年度学会賞受賞者を表彰した。

1) 功労賞 (2名、五十音順)

須藤 カツ子 会員 (東京医科大学)

吉川 泰弘 会員 (千葉科学大学)

2) 安東・田嶋賞 (1名)

小倉 淳郎 会員 (理化学研究所バイオリソースセンター)

「バイオリソースに資する発生工学技術の開発とその応用研究」

3) 奨励賞 (1名)

水野 聖哉 会員 (筑波大学生命科学動物資源センター)

「順・逆遺伝学的手法を駆使した変異マウスの異常形質原因遺伝子の解析」

4) 2015 年 Experimental Animals 最優秀論文賞 (1編)

本多 新、廣瀬美智子、山海 直、ヤスミン ルブナ、湯澤和明、本勝希実子、
伊豆美奈、井口 純、伊川正人、小倉淳郎

**Single-step generation of rabbits carrying a target allele of the tyrosinase
gene using CRISPR/Cas 9**

「CRISPR/Cas 9 を用いた簡便なウサギチロシナーゼ遺伝子の破壊」

(4) 2015 年日本実験動物学会国際賞の表彰を行った。

2015 年受賞者 (4名)

中国 : Yuanwu Ma

台湾 : Heng-Yi Chen

インドネシア : Devi Kartika

韓国 : Seonggon Kim

(5) 平成 29 年度学会賞受賞者を選考した。

1) 功労賞 (2名、五十音順)

鈴木 照雄 会員 (ハムリー株式会社)

米川 博通 会員 (東京都医学総合研究所)

2) 安東・田嶋賞 (1名)

佐々木 えりか 会員（公益財団法人実験動物中央研究所）

「コモンマーマウスの遺伝子改変モデル作製技術確立とモデルとしての有用性の拡大」

3) 奨励賞（2名、五十音順）

長谷川 賀一 会員（筑波大学生命科学動物資源センター）

「cre-loxP 遺伝子組換えレポーターマウスとドライバーマウスの開発」

藤原 祥高 会員（大阪大学微生物病研究所附属遺伝情報実験センター）

「遺伝子改変技術を用いた雄性不妊モデルマウスの開発と機能解析」

4) 2016 年 Experimental Animals 最優秀論文賞（1 編）

西谷あい、田中美有、清水佐紀、國澤直史、横江繭子、吉田裕作、鈴木登志郎、佐久間哲史、山本 卓、桑村 充、竹中重雄、大野行弘、庫本高志

Involvement of aspartoacylase in tremor expression in rats.

「アスパルトアシラーゼ遺伝子は本態性振戦の発症に関与する」

(6) 2016 年日本実験動物学会国際賞の選考を行った。

2016 年受賞者（5 名）

フィリピン : Jennifer L. Lucero

シンガポール : Muhammad Ibrahim Bin Mazlan

スリランカ : Wasala Mudiyansele Kalpani Madhushika Ratnayake

タイ : Jarinthron Teerapornpantakit

マレーシア : Nur Fazila Binti Saulol Hamid

VIII. 研究・調査活動

編集委員会、学術集会委員会、財務特別委員会、国際交流委員会、広報・情報公開検討委員会、動物福祉・倫理委員会、定款・細則・規定等検討委員会、実験動物感染症対策委員会、教育研修委員会、実験動物管理者研修制度委員会、人材育成委員会、将来検討委員会、動愛法等対策委員会、外部検証検討委員会を設置し、活動を行った。

IX. 関連学協会との連携

- (1) 日本学術会議、生物科学学会連合及び動物実験関係者連絡協議会の活動に協力した。
- (2) 国内の関連学会・協会との学術・情報交換を進め、その活動に協力した。
- (3) 国際実験動物科学会議（ICLAS）及びアジア実験動物学会連合（AFLAS）における活動を継続した。
- (4) 米国実験動物学会（AALAS）など、海外関連学協会との学術・情報交流を推進した。
- (5) 公益財団法人実験動物中央研究所 ICLAS モニタリングセンターおよび日本動物実験代替法評価センター（JaCVAM）の活動に協力した。

X. その他

- (1) 平成 28 年度維持会員懇談会を実施した。(財務特別委員会担当)
講演会「実験動物使用の現状と将来 - 動物数 - 性差について -」
話題提供「職場環境におけるセデンタリーライフスタイル」
平成 28 年 11 月 25 日、中央大学駿河台記念館、
参加者：77 名（維持会員 69 名、非会員 8 名）
- (2) 第 5 回実験動物科学シンポジウムを開催した。(学術集会委員会担当)
「医学研究を支える実験動物科学 - サル類 -」
平成 28 年 10 月 21 日、信州大学松本キャンパス 旭総合研究棟
参加者：124 名（会員 40 名、非会員 84 名）
- (3) 第 63 回大会期間中に 3 つの LAS セミナーを開催した。(教育研修委員会担当)
 - ① 遺伝子組換え動物（ゲノム編集と法規制）（参加者：132 名）
 - ② 今さら聞けない ES 細胞、iPS 細胞（Ⅱ）（参加者：141 名）
 - ③ 実験動物福祉（参加者：144 名）参加者合計：417 名
- (4) 実験動物管理者等研修会を開催した。(実験動物管理者研修制度委員会担当)
平成 28 年 9 月 16-17 日 九州大学西新プラザ（参加者：109 名）
平成 29 年 2 月 27-28 日 東京大学山上会館大会議室（参加者：106 名）
参加者合計：215 名（会員 48 名、維持会員団体職員 36 名、非会員 131 名）
- (5) 外部検証促進のための人材育成講習会を開催した。(人材育成委員会担当)
平成 29 年 1 月 21 -22 日、27-28 日 TKP 品川カンファレンスセンター
平成 29 年 3 月 4 -5 日、10-11 日 TKP 新大阪カンファレンスセンター
国動協及び公私動協から推薦された外部検証専門員候補者 32 名が受講。
- (6) 動物実験の外部検証：平成 29 年度の実施準備に向けた事前説明会を開催した。(人材育成委員会担当)
平成 29 年 1 月 27 日 TKP 品川カンファレンスセンター
平成 29 年 3 月 10 日 TKP 新大阪カンファレンスセンター
参加合計：191 機関、294 名
- (7) 第 66 回日本実験動物学会総会の大会長を選出し開催概要を決定した。
会 期：平成 31 年 5 月 15 - 17 日（予定）
会 場：福岡国際会議場（福岡県福岡市）（予定）
大会長：小野 悦郎（九州大学）